

92歳が咲かせる「心」

やましたしげのり

山下重稔

さん (92 歳)

のアジサイ――

92歳とは思えないほどの元気良さで、永田平公園付近の斜面に「心」の形にアジサイを咲かせるのは山下重稔さん。65歳まで林業に従事して培った足腰と、20年以上日課の毎朝の散歩が元気の秘訣。昔からものを作るのが得意で好きな山下さんは、趣味の一つとしてアジサイを育てている。

アジサイを植えたのは、10年前。近くにある稲荷神社に多くの人が来てほしいと思い、許可を得て植え始めた。そして、神様に届くようにと「心」の形に植えることを決心。

まずは、竹や草の除去から始めた。斜面で足場も悪く途方に暮れる作業。「やっと咲いた心の花。心の形になるまで3年ほどかかったが、やめようと思ったことは一度もない」と語る山下さん。そして今年、10年目を迎えた。

アジサイの管理には草刈りと花の剪定があり、主に一人で行っている。草刈りは、毎月2回程度。「特に、夏は草が伸びるのが早く量も多いので大変」。

剪定は、「一番大変で大切な作業」。翌年に向けた準備で古い枝や込み合った枝を根元から切り落とす。一般的に剪定は7月以降にするが、山下さんは6月下旬に行う。早めに行うことで次の年もきれいな花を咲かせる。大変な作業だが地域の人が「今年もきれいなアジサイが咲いていますね」と声をかけられるのが、やりがいになっている。

そして、今年もアジサイが「心」の形に咲いた。山下さんは「這いつくばってでも体が動くうちは、アジサイを咲かし続けたい」と笑顔で熱く語る。来年も、多くの人が見に来ることを願って。

「市内の人だけではなく、市外からも多くの人が見に来てほしい」と語る山下さん。来年6月の最盛期に向け今年も管理を行った

アジサイを植えた当初は、草刈り機で草を刈っていたが、最近は手鎌で行っている。足場が悪い斜面で足腰の強さを活かして作業する



林
小人

こばやしびと
Vol.129